

学校の様子・子供の様子

*** 令和元年度研究発表大会 ***

10月26日(土)に、今年度の研究発表大会を開催しました。昨年度に引き続き、「未来へつなぐ教科・領域の授業づくり」をテーマに、三年次の取組を提案しました。

鳥取県内はもちろん、遠くは北海道、県外の附属小学校、鳥取大学生等、210名の参加がありました。

今年度の研究のポイントは「教科・領域特有の見方・考え方を働かせた学びのプロセスと授業評価」です。それぞれの「教科・領域」らしい本来の学びの過程はどうあるべきか、どのようなプロセスを経ると学習内容が理解しやすいか等、授業の展開を評価していくことを研究としており、その成果を発表しました。

また、鳥取大学教授の矢部敏昭先生を講師として、研究大会以前からご指導いただき、当日のご講演もいただきました。まだ研究の途中ではありますが、本校の取組が広く発信できたことをうれしく思っています。

研究大会の様子をダイジェストですがお知らせいたします。



1-1 書写
「かたかなのかきかた」



1-2 生活
「あきとあそぼう」



2-1 国語
「名前を見てちょうだい」



2-2 外国語
「What ~ do you want?」



3-1 社会
「はたらく人とわたしたちの暮らし」



3-2 社会
「はたらく人とわたしたちの暮らし」



4-1 外国語
「What do you want?」



4-2 プログラミング
「理科：秋の生き物」



5-1 知財創造教育
「『尊重する』って何だろう」



5-2 図画工作
「糸のこにチャレンジ」



6-1 音楽
「和音の美しさを味わおう」



6-2 算数
「比例と反比例」



6-2 理科
「てこのはたらき」



4-1 道徳
「せきが空いているのに」



矢部先生講演会
「学びの“プロセス”と授業評価」